市報
平成3年
10月20日
第1286号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 学校町通1-602-1　編集 市長公室広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（9月末現在）

人口	479,400人	(+231)
男	232,651人	(+138)
女	246,749人	(+ 93)
世帯数	165,765	(+159)

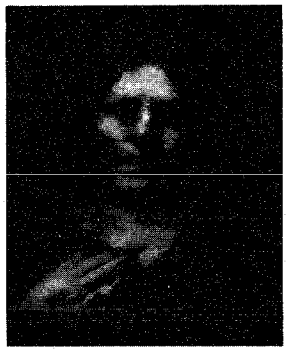
住民基本台帳による。（ ）は前月比

市美術館

フランスの象徴派画家 カリエールの27点を収蔵

市美術館では、十九世紀フランスの象徴派画家・カリエールの作品二十七点を二億三千万円で購入、収蔵しました。〝夢幻の魔力をもつリアリティ〟といわれたこの作品群で、所蔵品は一層充実。十月二十六日から常設展「新収蔵品展～カリエール作品を中心に」の中で公開します。どうぞご覧ください。

羊飼いと羊の群れ（1877年）


カリエール夫人

ウジェーヌ・カリエール（一八四九～一九〇六）は十九世紀フランスの絵画の中で独自の位置を占め、近代美術史ではルドンやゴーギャンなど象徴派の画家たちと並んで位置づけられています。現在カリエールの作はパリのルーブル美術館の九十六点を始め、ボストン美術館、ジュネーブ美術館などに所蔵されています。今回の二十七点の収蔵で市美術館は日本では一番多く、世界でもルーブル美術館に次ぐ規模のカリエール所蔵の美術館となります。

カリエールはレンブラント、ターナーなどの作品に影響を受け、柔和な雰囲気描写をその特徴としています。一八七九年のサロンで「母性」を出品以来、これを終生のテーマとし、今回の収蔵作品の中にもそれをうかがい知ることができます。カリエールはモデルたちを生綿のような雰囲気の中に配して描きましたが、これはモデルたちの内面的な感情を強調するために、周囲のこまごまとした部分をぼんやりと暗い襖子でぼかしたのだといわれます。

恵まれた画家人生を送った彼は、多くの芸術家と親しく交わりました。最初の個展にはゴーギャンの肖像画を出品し、ゴーギャンはタヒチに旅立つ前に自画像を贈っています。またアカデミー・カリエールを設け、マチス、ドラン、ピュイを指導。フランスの秋の美術展「サロン・ドートンヌ」の創設にも関わり、名誉会長を務めています。彫刻の巨匠ロダンもカリエールを深く尊敬し、彼の葬儀では弔辞を述べるほどだったのです。

26日から常設展

今回収蔵した作品を中心に常設展「新収蔵品展～カリエール作品を中心に」を開催します。カリエール作二十七点のほか、同館所蔵作の中から、生前カリエールと親交の深かったロダンの彫刻「バルザックの頭部」、当時のサロン・ドートンヌにロッソが出品した「カヴロッシュ」なども展示します。十九世紀フランスの息吹を伝える展示です。

会期 十月二十六日～十二月二十三日（月曜休館・祝休日の場合は翌日）
会場 市美術館
観覧料 大人二百円、大学・高校生百五十円、中学・小学生百円
問い合わせ 市美術館（☎223－1622）へ

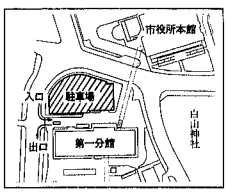
新潟マラソン 2600人が"快走"

10月10日の体育の日、第9回新潟マラソン大会が行われました。台風も心配される中で晴れ間がのぞき、全国から参加した2568人がフルマラソン、ハーフマラソン、10キロ、5キロの順に出走。新大工学部西側のスタートラインから国道402号に下る坂道がランナーと応援の人出で埋まる光景も。選手たちはこの日のために鍛えた健脚を競い"快走"沿道からも声援を浴びていました。

市役所駐車場

休日も利用できます

市役所第一分館前の駐車場が、日曜日など市役所が休みの日にも一般利用できます。周辺施設の利用時や、買い物などの際にご利用ください。



新たに営業する日 日曜日、祝休日、毎月第二・四土曜日、十二月三十一日～一月三日
利用時間 午前八時～午後五時半。十二月三十一日は午後一時から翌朝まで
料金 三十分百六十円
※自動車の泊りはできません

9月定例市議会

28議案を可決し閉会

九月二十五日から開かれていた九月定例市議会が、提案された二十八議案を可決・承認し十月九日に閉会しました。今回可決・承認された議案は、固定資産税過誤納金補てん金の支出を含む一般会計補正予算、平成二年度病院事業会計と水道事業会計の決算などです。

また、意見書「第八次治水事業五箇年計画の投資規模確保に関する意見書の提出について」を可決。陳情「機能訓練について（第六、九項）」、請願「新野球場建設について」を採択しました。

精神薄弱者の旅客運賃を割引

療育手帳の書き換えを

精神薄弱者に対するJRなどの旅客運賃割引制度が、十二月一日から実施されます。この制度を利用するためには、療育手帳の書き換えが必要です。あす二十一日より市障害福祉課で書き換えの受け付けをはじめますので、おいでください。

持ち物 療育手帳、印鑑、顔写真一枚（たて四㌢、横三㌢、一年以内撮影）
問い合わせ 障害福祉課（☎内線2624番）へ

生き生き新潟っ子 ㊳

あいさつ運動週間

五十嵐小六年　伊賀聖屋

僕達の小学校では、毎月第二週「あいさつ運動週間」というものを行っています。

あいさつ運動週間というのは、毎朝総務委員が玄関に立ち、「おはよう」と声をかけるものです。又、僕達の学校には、全校のみんなで考えたあいさつマスコットの「ゴロウ」がいます。そして今年は、もっとあいさつをもりあげるために「ゴロウ三点セット」を作り運動にとりくんでいます。その結果、みんなが僕達のしんけんさを分かってくれ、今まで以上に、活発なあいさつをかわすようになりました。

これからも、あいさつ運動を頑張っていきたいと思います。

電話案内

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）

野球場・テニスコートの申し込み	266－8111
園芸センター	286－1034
東保健所	243－5311
石山地区保健センター	286－4450
鳥屋野地区保健センター	285－2373
北地区保健センター	259－7332
西保健所	266－5171
西地区保健センター	262－3405
坂井輪地区保健センター	260－3255
休日診療（市医師会・県歯科医師会）	
休日急患診療センター	228－2822
休日歯科診療センター	283－3030

市民緑化講演会

日時 10月21日午後2時～4時
会場 万代市民会館
内容 講演「まちに緑と花を」（緑のコーディネーター・中矢澄子さん）、スライドによる他都市の緑化、ジンチョウゲの苗木配布（200株用意）
問い合わせ 公園緑地課（☎内線2838番）へ

女と男の新しい関係を考える 講座「ロマンチックラブとアッシー君現象の間で…」

日時 10月12・26日、以降来年3月までの毎月第1・3火曜日午後7時～9時
会場 万代市民会館　**対象** 20歳代50人
主任講師 新大助教授・大津浩さん
内容 トレンディードラマのその後、DINKS、結婚別姓、ほかについてビデオやマンガを活用するゼミ形式の講座
申し込み 社会教育課（☎内線3255番）へ

景観フォトコンテスト作品展

日時 10月24日～29日
会場 新潟大和7階大ホール
問い合わせ 都市計画課（☎内線2811番）へ